

好評につき！7月12日(土)からアンコール上映



製作／鶴久森典妙
監督／高橋一郎
語り／鈴木瑞穂
日本・2012年・カラー
上映時間：143分
ドキュメンタリー映画

©「もういいかい」映画製作委員会

もういいかい

ハンセン病と三つの法律

国の政策に翻弄され、失われたアイデンティティと名誉の回復！ハンセン病 強制隔離 90年の歴史を語る

住み慣れた地で家族と平和に暮らしたいーそんな素朴な、ごく当たり前の願いが、ある日突然、国策という名のもとに奪い去られた人たちがいました。彼らの運命を決定づけたのは三つの法律ー「癩予防二関スル件」(明治40年)、「(旧)癩予防法」(昭和6年)「(新)らい予防法」(昭和28年)です。

強制隔離された人たちは、名前を変えさせられ、ふるさとへの帰郷は許されませんでした。ハンセン病という理由だけで、この地でひたすら死を待つ生活を強いられたのです。人々の視界から消し去られ、記憶の外に追いやられた人たち。子孫断絶を強いた断種・墮胎、園内労働による手足の障害、懲戒検束規定による監房・重監房、国を挙げての無癩県運動…。

この映画は療養所の中で何が行われ、入所者はどのような生活を送っていたのか、多くの証言に基づいてその仕組みと実態を検証し、三つの法律をもとに展開された絶対隔離政策等、百年にわたるハンセン病の歴史を描いた作品です。(2時間23分)



運動の指導者 二人逝く

2012年に映画が完成してから5人の方が亡くなりました。加賀田一さん、曾我野一美さん、田中民市さん、この5月に神美知宏さん、笹雄二さんと続けて悲報がありました。過酷な療養所生活を強いられてきた人々です。笹さんは「人間らしく扱われなかった。どんなことが行われたか、国は永久に語り継ぐ責任がある」と訴えてきました。神さんは、現在も療養所で生活している人たちの生活改善、偏見と差別のない社会を求めて運動の先頭に立ってきました。映画ではそれぞれの立場で熱く証言しています。この機会にぜひご覧ください。



2014年 7月12日(土)～8月1日(金)

上映時間 ①11:30 ②18:30 【7月17日(木)18:30の回休映】



大阪市西区九条 1-20-24

料金／一般 ¥1,500
学生・シニア ¥1,100
会員・高校生以下 ¥1,000

もういいかい
シネ・ヌーヴォー

7月12日(土)～8月1日(金)

①11:30 ②18:30

【7月17日(木)18:30の回休映】

特別割引券

一般 1,000円

(当日1,500円のところ)
1枚で2名様まで有効です